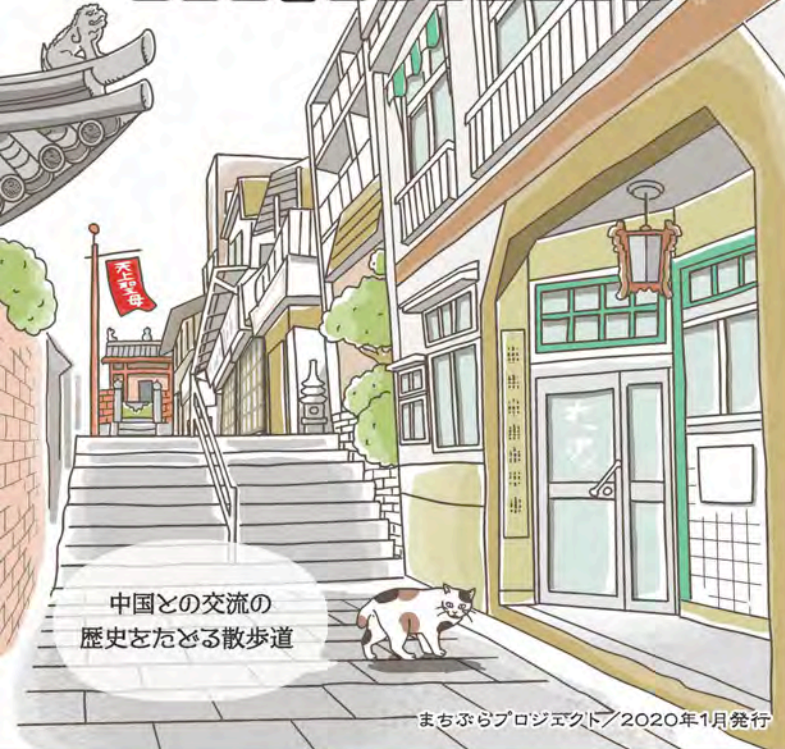


# 唐人屋敷跡 探訪マップ

Map & History



中国との交流の歴史をたどる散歩道

まちぶらプロジェクト/2020年1月発行

## 出島と同等の価値を持つ唐人屋敷

唐人屋敷と出島。どちらも日本で唯一長崎に存在する貴重な歴史遺産です。出島は、西欧の文化・学術の交流拠点として、日本の近代化に大きな役割を果たしました。しかし、鎖国時代の長崎や日本に与えた影響は、出島と同様に唐人屋敷も大きく、漢詩文・絵画・書など、唐人屋敷の唐人に学ぶために多くの遊学者が長崎を訪れました。その数は、出島を目指した人々よりも多かったのです。また、中国貿易は、オランダ貿易よりも量・利益ともに上回っており、長崎の景気を大きく左右していました。このように、唐人屋敷は、出島と同等の価値を持っているのです。

## 唐人屋敷跡に灯りがともる 長崎ランタンフェスティバル



長崎ランタンフェスティバルの唐人屋敷会場

長崎ランタンフェスティバルは、元々長崎の華僑の人たちが、中国の旧正月(春節)を祝うための行事として新地中華街を中心に行っていた祭りです。平成6年から規模を拡大し長崎の冬の彩る一大風物詩となりました。期間中は、メイン会場の湊公園や新地中華街はもとより、浜市・観光通りなどの市内中心部に、約1万5千個にも及ぶランタン(中国提灯)が飾られます。唐人屋敷跡では、「ロウソク祈願四堂巡り」等が行われ、多くの人で賑わいます。

●本パンフレットについてのお問い合わせは、長崎市まちなか事業推進室(☎095-829-1178)

# 中国との深い交流の歴史を物語る、唐人屋敷跡を歩こう

唐人屋敷跡は、長崎らしい坂道や細い石段、レトロな銭湯跡などがあり、ノスタルジックな気分を味わえます。

## 1 遺構広場

空堀跡や再現された線堀などが見られます。



## 観音堂

かんのどう/市指定史跡



**アーチ型の石門が印象的**  
元文2年(1737)に建立されたと推定。現在の建物は、天明7年(1787)に再建したものを大正6年(1917)に改築。本堂には観世音菩薩と関帝が安置されています。また、基壇には「合端合せ」の技法が見られ、沖繩的な要素もうかがえます。入口のアーチ型の石門は唐人屋敷時代のものとされています。

## 福建会館天后堂

ふっけんかいかん てんこうどう/市指定有形文化財



**中国との交流史が凝縮!**  
明治元年(1868)に福建省出身者の手によって現在地に八閩(はちびん)会館を創設。明治30年(1897)に建物を全面改築し、福建会館と改称。原爆投下で本館が倒壊し、正門と天后堂が現存しています。中国風と和風が併存した建築様式が特徴で、中国との交流の歴史が凝縮された建造物といえます。大正2年(1913)に孫文が華僑主催の歓迎午餐会に足を運び、県知事らと集合写真を撮った場所でもあります。

## 唐人屋敷跡



### 天后堂

てんこうどう/市指定史跡

**航海安全の女神 天后聖母(媽祖)を祀る**  
元文元年(1736)に南京地方の人々が航海安全を祈願し、天后聖母を祀ったのが起源。「長崎名勝図絵」によれば、門外左右の旗竿に、天后聖母の字が書かれた紅旗をあげ、風にひるがえっていました。関帝も併祀しており、別名関帝堂とも呼ばれています。現在の建物は明治39年(1906)に改築されました。

### 土神堂

どじんどう/市指定史跡

**生活を守ってくれる 土神様を祀る**  
元禄4年(1691)9月、土神の石殿を建立したいという唐船の船頭たちの願いが許され創立。天明4年(1784)の火災で焼失しましたが、唐三か寺により復旧。昭和25年(1950)に老朽解体され、石殿だけが残っていましたが、昭和52年(1977)に復元されました。

### 6 唐人屋敷象徴門(大門)

館内可入口部に立つ高さ8.7mの中門。記念写真のオススメスポット。

### 7 唐人屋敷象徴門(誘導門)

広馬場商店街入口部にある石造りの門。



### 2 唐人屋敷時代の堀跡

唐人屋敷の周りを囲んだ堀の跡。現在も水路として利用されています。

### 3 森伊橋

明治時代に堀に架けられた地元出身の森伊三次氏寄贈の石橋。栄橋・森橋も森伊三次氏が寄贈。

**森伊三次ってどんな人?**  
開国後、長崎奉行が退去し、唐人屋敷地区は管理者不在の状態となります。そこで、唐人屋敷跡の払下げを受け大地主となったのが森伊三次です。地元の名士でもあった森伊三次は、地区の再整備に努め、館内町の河川に石橋を架け、今も3橋が現存しています。ちなみに、ブリックホールなどが建つ茂里町は、森伊三次が新田開発を行ってきた町で、町名は「森」に由来しています。

### 4 蔵の資料館(旧森家の蔵)

明治26年に建てられた旧森家の道具蔵を曳家移転・改修して開館。唐人屋敷の歴史、唐貿易、唐人の生活や催事などのパネル、発掘調査で出土した当時の陶器類などを展示しています。  
[開館時間] 9時~17時  
年中無休、入場無料

### 5 十善寺地区まちづくり情報センター

十善寺地区のまちづくりの拠点。蔵の資料館に隣接し、唐人屋敷に関する情報発信や情報収集、交流の場になっています。  
[開館時間] 10時~16時  
土日祝祭日は休館日  
[問合せ] Tel.095-829-0267

## 唐人屋敷跡でできる 中国文化体験

### 中国茶体験

さまざまな種類がある中国茶。まずは代表的な烏龍茶の淹れ方を体験を通してマスターして、五感で楽しむ中国茶の奥深い世界をのぞいてみませんか?(チャイナ服無料貸し出し有)  
※その他の種類のお茶も体験できます。お気軽にお問い合わせ下さい。

料金:1名2000円 時間:60分 (1名より受付可・2日前までに要予約)

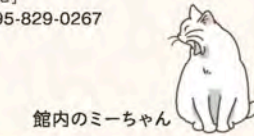
### 太極拳体験

太極拳の基本を体験し、カンフー体験を覚えます。意識して身体をコントロールすることで、心と体のバランスを整えましょう。  
料金:1名1500円 定員:15~40名 (30日前までに要予約)

### 二胡体験

中国の楽器「胡弓(こきゅう)」でキラキラ星の演奏を体験できます。チャイナ服を着て体験できるのも魅力のひとつです。  
料金:1名1500円 定員:15~15名 (30日前までに要予約)

[ご予約・お問合せ]  
十善寺地区まちづくり情報センター Tel./Fax.095-829-0267  
受付場所:十善寺地区まちづくり情報センター(map)



### 7 茶館

字が右から書かれた看板など、大正時代のようなまちなみが楽しめます。



新地中華街南門(朱雀)

新地中華街

浜町